



長崎がんばらんば国体 2014
第69回国民体育大会 10月12日(日)～10月22日(水)

長崎がんばらんば大会 2014
第14回全国障害者スポーツ大会 11月1日(土)～11月3日(月・祝)

君の夢 はばたけ今 ながさから

常任委員会

◆総務委員会 委員長/松本 洋介

【質問】世界遺産の登録に向け、構成資産を引き出した際の関連資産のリストアアップや観光客を長く滞在させるための周遊ルート開発の取組は、

【答弁】構成資産の軍艦島は立入範囲が制限されるが、池島は炭鉱の坑道の中まで入れるので、軍艦島と併せた入り込みで観光客は増えつつある。このように構成資産と関連資産を組み合わせて周遊ルート化すれば観光客の誘客につながるため、しっかりと取り組んでいきたい。

【主な論議事項】新県庁舎の建設工事の請負契約締結について/公の施設の指定管理者の指定について/振り込み詐欺等の特殊詐欺対策について/危険ドラッグについて/県産品の愛用推進について/人口減少対策について/中期財政見直しについて 等

◆文教厚生委員会 委員長/中村 和弥

【質問】佐世保市女子高生の事業発生前に児童相談所に寄せられた加害生徒に関する電話に対して、組織としてどう対応したのか。

【答弁】児童福祉制度について話をし、通話者から一定の理解が得られたと判断したため、「相談」ではなく、「制度」に関する「照会」として対応した。電話内容は画面及び口頭により、所長まで計5名の上司に報告が行われているが、今後の支援方針を検討する「受理会議」にはかけていなかった。

【主な論議事項】国体開催のために必要な警備員の確保状況について/ラグビーワールドカップ試合会場として立候補することの検討状況について/周産期医療の充実について 等

◆環境生活委員会 委員長/山本 啓介

【質問】産業廃棄物税制度に関し、九州共同効果検証結果によると、県内の焼却処分施設への平成25年度の搬入量は、平成20年度と比べ、約3分の2に減少し、最終処分量は約26%減少しているが、この要因をどう考えているか。また、今後、この制度をどう進めていくのか。

【答弁】処分量の減少など制度を導入した効果が出ていてと考えている。効果検証において、九州各県が現行制度を維持するとの共通認識を持っており、本県においても、当該認識を踏まえて方針を決定したい。

【主な論議事項】広島県で発生した豪雨災害を受けての本県における取組状況について/建設業界における女性技術者の登用について/九州電力の再生可能エネルギーの買取確保について/災害時における県営バスの対応について/NPOと県がともに働くプロジェクトについて/学校における小動物飼育について 等

◆農水経済委員会 委員長/中島 浩介

【質問】経営者の高齢化や人口減少などに伴い、事業の承継が出来ないなどの問題が発生してきたことから、事業承継支援センターを開設したと思うが、申し込みはどのくらいか。また、どのような支援を行うのか。

【答弁】8月1日に長崎県商工会連合会内に事業承継支援センターを設置したが、経営者は、事業承継に困っていると思われた場合、金融機関からの融資が停止されないかと懸念している方が多く、相談しにくい分野であることから、現在までの相談件数は2件となっている。企業に身近な税理士や、経営者に対して、セミナーの実施や専門家の派遣などを行うことにより、事業承継の重要性を認識していき、事業の承継が円滑に進むよう支援していきたい。

【主な論議事項】サービス産業の振興について/大村湾のナマコ種苗の放流の推進について/太平洋クロマグロの資源管理について/小売の新品種「長崎W2号」について/千歳女子高等学校園跡地の活用について/諫早湾干拓事業について 等

◆予算決算委員会 委員長/下条 ふみま

【質問】昨年7月から週3便で運航しているジニアアの長崎～ソウル線について、冬季ダイヤ化のための支援内容と増便による目標人数はどうなっているか。

【答弁】1年目と2年目は、着陸料の75%、レーダー施設など利用のための航行援助施設利用料の50%を支援し、3年目は着陸料、航行援助施設利用料ともに50%、4年目以降は着陸料の50%の支援を行うことを協議していきたい。このほか長崎への誘客対策として、旅行会社に旅行商品をつくってもらうための貸切バス代の助成や、日本人が海外へ行く際の利用拡大のための乗継ツアーPR助成などを行うこととしている。今回の増便により、今年度は約1万人の利用者の増加を見込んでいる。

【主な論議事項】児童生徒の重大事業対策事業費について/再生可能エネルギー等導入推進基金事業について/海洋エネルギー関連産業集積促進事業費について 等

お知らせ

インターネット中継
インターネットを利用した県議会中継(生中継・録画中継)を実施しています。

ホームページ・会議録
長崎県議会 検索 会議録全文を掲載しています。

【掲載内容】
○平成 8 年 2 月～26 年 6 月定例会の本案議・常任委員会
○平成 24 年 2 月～26 年 7 月分の特別委員会

◎本会議・委員会は、原則としていつでもだれでも傍聴できます。
◎次回の定例会は、11月25日に始まる予定です。

審査した案件と結果

知事提出の議案	予 算 1 件(可決)	条 例 10 件(可決)
	事 件 14 件(可決)	同 意 1 件(同意)
	認 定 3 件(予算決算委員会に付託)	
議員等提出の案件	議員派遣 3 件(可決)	意見書 11 件(可決)
請 願	2 件(採択)	

可決された意見書

- ◎私学助成の充実強化等に関する意見書
- ◎未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書
- ◎奨学金制度の充実を求める意見書
- ◎「危険ドラッグ」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書
- ◎軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書
- ◎介護保険制度における施策等の充実強化を求める意見書
- ◎子ども・子育て支援対策の充実強化を求める意見書
- ◎「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書
- ◎T P P 交渉並びに農協改革に関する意見書
- ◎調査補給の継続実施に関する意見書
- ◎森林整備加速化・林業再生事業の継続を求める意見書

採択された請願

- ◎T P P 交渉並びに農協改革に関する請願書
- ◎手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書

ながさき 県議会だより

9月定例会

祝! 天皇杯獲得
応援ありがとうございました。




平成26年9月定例会にて、22億9,822万円の一般会計補正予算等を可決!

平成26年9月定例会は、9月10日から10月6日まで開かれました。定例会の本会議初日は、「平成26年度長崎県一般会計補正予算(第2号)」など26件の議案が上程され、中村知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、提出議案などについて提案理由の説明を行いました。

一般質問では、12名の議員が登壇し、佐世保市女子高生の事業、道路行政、高齢者対策、防災対策、世界遺産登録の推進、県民所得向上対策、人口減少対策、石木ダム建設の推進、観光振興、再生可能エネルギーの活用、県の財政についてなど、さまざまな事項について活発な議論が交わされました。

補正予算については、経済対策関連基金のうち緊急を要する経費、国庫補助事業の内示等に伴う事業費の追加、その他緊急を要する経費について編成され、一般会計で22億9,822万円の増額となりました。

本定例会では、「長崎県いじめ問題調査委員会条例」など29件の議案を原案のとおり可決・同意し、「平成25年度長崎県一般会計決算及び各特別会計決算の認定について」など3件の議案について、予算決算委員会に付託しました。

また、「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書「など、11件の意見書を可決し、「T P P 交渉並びに農協改革に関する請願書」など2件の請願を採択し閉会しました。

一般質問

<p>世界遺産センター整備について</p> <p>高見 健 (大村市/改革21・新生ながさき)</p> <p>【質問】世界遺産センター(仮称)基本構想策定検討委員会での検討内容は、またスローリー性の検討にあたり構成資産以外の関連資産等も含めた取組が重要である。同委員会ではセンターに必要な機能や施設規模、設置場所や運営方法、県市町の役割分担等を検討し、本年度中に基本構想を策定予定。また、教養の価値に沿った県内各地のキリスト教関連遺産を歴史文化遺産群として一体的に情報発信し、誘客効果を県内に広く波及させる取組をしたい。</p>	<p>認知症対策について</p> <p>山口 初實 (諫早市/改革21・新生ながさき)</p> <p>【質問】少子・高齢化が加速している状況では、地域でしっかりと支える仕組みが求められている。県内の認知症による高齢者の徘徊の現状と対策は、</p> <p>【答弁】「行方不明者」は昨年1年間で36名、20名の徘徊防止にGPSを活用した取組がされており、各地の実情に応じた徘徊防止システムを市町と協議している。また県では、認知症サポーター「サポーターリーダー」の養成を進めており、地域の見守り体制づくりを積極的に進めてまいりたい。</p>	<p>石木ダム建設について</p> <p>田中 愛国 (佐世保市・北松浦県/自由民主党・愛郷の会)</p> <p>【質問】佐世保市の40年先の課題である石木ダム建設について、知事の大英断を期待するが、</p> <p>【答弁】川棚川の抜本的な治水対策と佐世保市の慢性的な水不足解消のためには必要不可欠で早期に成し遂げなければならぬ事業である。裁決申請は期限があることから用地の一部についても裁決申請に向けて準備を進めなければならないが話し合いによる解決が望ましいと考えており、今後とも県市町が一体となり最大の努力を傾注していく。</p>	<p>佐世保市女子高生の逮捕事案について</p> <p>瀬川 光之 (西海市/自由民主党・愛郷の会)</p> <p>【質問】再発防止に向けた検討会議等の設置は、</p> <p>【答弁】教育委員会では、現在行っている検証作業を早急に調査報告書として取りまとめ、外部有識者等に専門的見地からアドバイスをお願いしたいと考えている。ことごと政策局では、児童相談所の対応について専門家を変えて検証した後、子どもも有健全全般の新たな検討会議を設置するなど、再発防止に向けた取組や連携強化策等を構築してまいりたい。</p>
<p>小規模企業振興基本法制定に伴う対応について</p> <p>吉村 洋 (佐世保市・北松浦県/自由民主党・愛郷の会)</p> <p>【質問】本年6月に小規模企業振興基本法が成立したが、県内企業約87%を占める小規模事業者は主眼を置いた条例を策定すべきと考えているが、</p> <p>【答弁】今後、中小企業振興条例の制定に向けて、外部有識者による条例策定会議や県議会での議論と共に、商工団体と意見交換を行い、中小企業振興基本法の基本理念に加え、小規模企業の持続的発展を基本原則とする小規模企業振興基本法との考え方も踏まえた条例となるよう検討したい。</p>	<p>長崎県の地域防災計画について</p> <p>浜口 俊幸 (西彼杵町/改革21・新生ながさき)</p> <p>【質問】住民への災害情報の確実な伝達方法は、また市町に避難勧告発令基準等を示したマニュアルの策定支援をすべき。市町と災害時の避難所開設について連携は、</p> <p>【答弁】県内19市町で防災行政無線スピーカーの整備があり、全市町で避難勧告等を携帯電話へ一斉配信する取組がある。また、市町のマニュアルについては、国カイトララインに基づいた基準づくりを促している。避難所の開設等については、地域の自主防災組織と連携した対応などを助言していききたい。</p>	<p>国道207号線の改良整備について</p> <p>橋村 松太郎 (諫早市/自由民主党・愛郷の会)</p> <p>【質問】長門東部及び高来地区の道路改良及び佐瀬地区道路の早期改良について、知事の見解は、</p> <p>【答弁】高来方面の国道207号は、干拓道路よりも市街地側の交通量が2万台を要し、走行速度も低下している。要因は、交通容量不足で抜本的な対策が必要と考える。このため、交通渋滞が著しい長門ハイパスの終点から猿崎地区まで、事業化に向けた検討を進めていく。佐瀬区については、予算確保に努め、平成29年度の完成に向けて力を注いでいく。</p>	<p>ハートプラスマークの普及について</p> <p>川崎 祥司 (長崎市/公明党)</p> <p>【質問】内部障害者を示すハートプラスマークに対する県の認識と、マークの積極的な普及に向けた県の見解は、</p> <p>【答弁】県ホームページでの紹介や障害者団体へのご案内など周知を図っているが普及は進んでいない。今後一層の普及を図るため、県づくり条例の普及啓発用パンフレットへの掲載や、身体障害者用駐車場利用証のデザインへのハートプラスマーク追加を検討するなどして、さらなる周知を図りたい。</p>
<p>軍艦島整備について</p> <p>深堀 浩 (長崎市/改革21・新生ながさき)</p> <p>【質問】軍艦島整備に関する考え方は、また一度確認しておきたい。</p> <p>【答弁】軍艦島整備の必要性は十分理解しており、しっかりと取り組んでいく必要がある。また、具体的な整備内容、管理の方針が定まっていなければならない整備費用の考え方に差がある。今後、国の制度の有効活用や過渡期的な既存の起債措置の活用を含め、県と市で力を合わせ対応していききたい。また具体的な整備段階から県も積極的に関わっていく必要がある。</p>	<p>中期財政見直しについて</p> <p>中島 浩介 (南島原市/自由民主党・愛郷の会)</p> <p>【質問】中期財政見直しでの今後の検討項目として、今後の税収の動向は、また人員削減や経費等の見直しには限界があるが、</p> <p>【答弁】今後の税収動向は、国の税制改正や県内経済の動向、人口減少の進展等に影響を受け、税収増もなくなる県民所得向上対策及び人口減少対策に引き続き全力で取り組んでいきたい。また、人員削減や経費削減は、従来の業務遂行全般の見直し等でも一部削減を行うとともに、一部削減の事務事業を徹底的に見直ししていきたい。</p>	<p>森林資源の活用について</p> <p>友田 吉泰 (松浦市/改革21・新生ながさき)</p> <p>【質問】離島・半島地域の活性化に大きく寄与すると思われる県内産木材を利用したC O P T 直交集成材への調査研究に取り組みは、</p> <p>【答弁】国では、C O P T 普及のスピードアップを図ることを日本再興戦略に盛り込み、研究開発に取り組みたい。県としては、国や国内の事業者からの情報収集を進め、本年度設置した地域材供給増進協議会において、C O P T 活用の可能性について、意見交換をしていく。</p>	<p>世界遺産登録の推進について</p> <p>西川 克己 (平戸市/自由民主党・愛郷の会)</p> <p>【質問】長崎の教会群とゆかりの深いパチカンに対し、知事が直接訪問し世界遺産登録への応援や信徒発見150年を契機としたローマ教皇の来県をお願いしたいが、</p> <p>【答弁】これまで関係者を介して報告により来県等をお願いしているが、ローマ教皇をお招きするに長崎の教会群の世界遺産登録への大きな世界へ発信できる大きな機会となるので、ぜひ適切な時期にパチカンを訪問して直接お願いする機会を得たい。</p>

特別委員会活動状況

<p>離島・半島地域振興特別委員会</p> <p>本委員会では、離島・半島地域振興対策、国境離島新法(仮称)制定対策、半島振興法改正延長対策、航空・航空路運賃対策について審査しています。8月には松浦市及び平戸市を訪問し、現地調査を行いました。松浦市離島にある双日ツナファーム島島焼では、マグロ養殖参入の経緯や地域との連携などについて説明を受け、水産業の現状などについて質疑を行いました。その他、松浦市島島や平戸市大島を訪問し、島民との意見交換を行ったり、島島歴史民俗資料館、大島神浦の町並保存地区を訪問し、地域資源を活かした離島・半島振興の取組について説明を受けました。</p> <p>双日ツナファーム島島焼</p>	<p>人口減少・雇用対策特別委員会</p> <p>本委員会では、県民所得の向上対策、人口増加・少子化対策、雇用創出・若年者雇用対策、企業誘致対策について審査しています。8月には新潟県及び富山県を訪問し、現地調査を行いました。新潟県では、新潟県人口問題対策協議会について説明を受けた後、意見交換を行いました。また富山県では、富山県子ども政策・人口減少対策本部について説明を受けた後、意見交換を行いました。その他、米魚川市役所、新潟県酒造組合、富山国際会議場を訪問し、概要等について説明を受けた後、意見交換や施設の見学を行いました。</p> <p>富山国際会議場</p>	<p>観光振興等対策特別委員会</p> <p>本委員会では、観光振興対策、世界遺産対策、I R(統合型リゾート)対策、県下交通網整備、アジア国際戦略について審査しています。8月にはシンガポールを訪問し、現地調査を行いました。CRA(カジノ規制庁)、NCPG(賭博依存症国家評議会)では、国の行政権限によるカジノ事業者に対する規制や、賭博依存症に関する調査研究等について説明を受けた後、意見交換を行いました。その他、NAMS(国家依存症管理サービス機構)、リゾートワールドセンターサ、マリナーベイサンズ、日本観光政府局(JNTO)を訪問し、施設の見学や意見交換を行いました。</p> <p>リゾートワールドセンターサ</p>
---	--	--

注目情報!! ~委員会中継の視聴方法~

インターネット動画サイト・ユーストリームにおいて、委員会中継(生・録画)を配信しています!

- 1 もっと知り長崎県議会 長崎県議会 検索
- 2 中ほどにある ユーストリーム中継のバナーをクリックする
- 3 視聴方法や注意事項をよく読んで、最後にある下記表示から入る◎委員会(ライブ・録画)中継はこちら
- 4 視聴したい委員会名をクリックする



視聴したい委員会名をクリック!!

委員会(ライブ・録画)中継はこちらをクリック!!